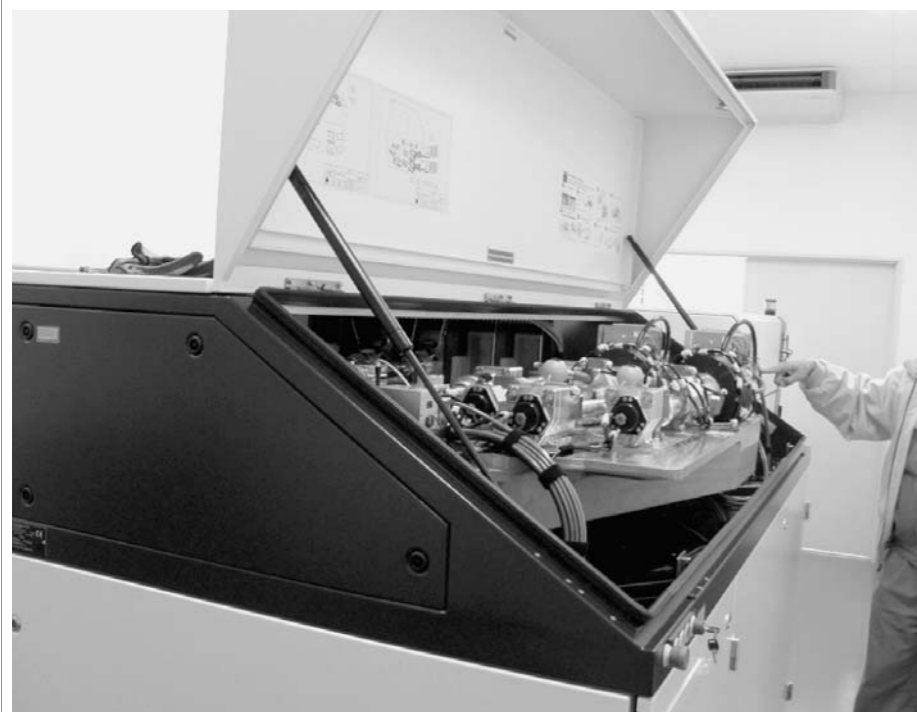


予算、成長産業や雇用創出に重点配分

静岡県は2011年度の予算編成は、11年度からスタートした新県総合計画の着実な推進をはじめ、厳しい雇用・経済状況への万全の対応、ふじのくにづくりと財政健全化の両立の3方針を掲げて進めた。次世代につながる成長産業の育成や雇用創出などに予算を重点配分した。

具体的には、環境産業では世界的な企業との共同研究や製品開発に力を入れた。3次では開発機関が産学官連携で成長した製品を世界に売り込んでいく(吉林章仁静岡新成長戦略研究費に3億円をそれぞれ盛り込んだ。特に、注目度の高いプロジェクトであるファルマバレー(富士山麓先端健康産業集積)プロジェクトには推進事業費など1億2800万円を計上し、4月1日から第3次戦略計画(11・20年度)をスタートさせた。

静岡県は医薬品と医療機器製造生産額では全国トップクラスにあり、特に東部地区は医薬品・医療機器メーカーが集積している。この特徴を生かしてファルマバレープロジェクトは「世界一の健康長寿県」の形成を基本理念に掲げ、「健康増進・疾病克服」と「県民の経済基盤の確立」を両輪にして施策を推進。いわば健康医療産業の城下町をつくるというものを、第1次計画(02・06年度)では中核支援機関のファルマバレーセンターの発足や核となる静岡がんセンターの建設などに基づく。第2次戦略計画(07年・10年度)設など基盤整備に注力



静岡県はファルマバレーセンターの発足や核となる静岡がんセンターの建設などに基づく。第2次戦略計画(07年・10年度)設など基盤整備に注力

健康医療産業城下町へ



年産台数が100万台を突破したスズキのインド工場

静岡県

先端製品 世界へ発信

産業界のグローバル力結集

日本復興へ「海外生産止めるな」

大手

「グループの英知を結集して危機を乗り越えたい」と、梅村充やマハ社長は力強く訴える。静岡県企業は東日本大震災の直接的被害はほとんどなかったが、部品調達などに支障が出て輸送用機器など主要産業が生産停止に追い込まれた。しかしグローバル展開する強みを生かし、技術とノウハウの集積する日本の復興に総力を尽くす。

「インド工場は何としても止めるな」。震災後、鈴木修スズキ会長兼社長の掛け声。国内

部品確保へ奔走

4輪車工場は震災の影響で1カ月近くは本格的な生産再開が困難な状態。担当者は国内生産の再開を急ぐ一方、好調な海外工場の操業を維持するため部品確保や代替部品の準備などに奔走している。インド子会社のマルチ・スズキは年間100万台以上を生産する様子。市場の成長を追い風に「作っただけ売れる(関係者)状態」で2012、13年と相次いで新工場を建設する計画もある。売上高の約9割を海外が占めるマハ発動機。震災で国内2輪車生産が停止したが、販売好調なインドネシアやベトナムなど成長市場への投資は継続する。震災対応では「重点部品対策プロジェクト」を発足し、9アイテムに絞って材料や設計変更に取り組み、同社は被災地への支援も迅速だった。スズキは多目的に利用できる軽トラック、マハ発動機は電動アシスト自転車などを現地に提供した。またマハ発動機は被災地で必要とされる発電機を「部品をかき集めながら」(関係者)、グループ会社で生産し続けている。

ヤマハはここ数年の構造改革が功を奏し、12年度を最終年度とする中期経営計画の初年度は「計画を上回る成果」(梅村社長)を挙げた。好調な中国でのピアノ販売や北米市場の回復が明るい材料。震災による影響は懸念されるが、現段階で中経の見直しはしない。

設備投資や新技術駆使

中小

中小企業も前を向き、大光製作所(静岡県磐田市)は約1億円を投じて、出力5.5kWのドイツ製高出力ダイスクレーザ溶接加工機を本社工場に導入。本格稼働した。アルミニウムや銅の高精度加工に適していることから、自動車ボディーの軽量化や電気自動車(EV)部品への応用を提案していく。

「仕事を受注したから設備を入れたのではない。顧客の高い要求レベルにこたえ、新規分野を開拓したい」(橋本正光社長)と将来の成長への布石とする考え。

コバテクノロジー(浜松市東区)は、日本のモノづくりの競争力強化につながる金型用ソフトウェア「ソリッドパワート」の開発を目指す。

赤武エンジニアリング(静岡県沼津市)は、独アンドロックスシステム(バレンシア)の販売を始めた。機密性が高く、容器間の移し替えや次工程への搬送用など、化学品や医薬品の製造プラントに適している。3年後に売上高5億円を見込む。

老朽化した屋根を補強する「蘇生工法」の受注が好調なのは、トヨコー(同富山市)。既存工場の屋根を延命させるほか、断熱性能の向上を目的に採用されるケースが増えている。蘇生工法はスレート材表面に専用スプレーで断熱、補強防水、耐火などの性能を発揮する3層の樹脂を吹き付ける。短い工期で施工できるのが特徴で、台湾からも引き合いがあるという。

海外を攻略

離型剤の使用量を削減でき、金型の耐久性も高まる技術で玄技術(兵庫県三木市)が開発。輸送用機器業界にパイプを持つコバが協力することで販路拡大を目指す。

コンテナ・超高精度計量装置・自動倉庫などでシステムを構成

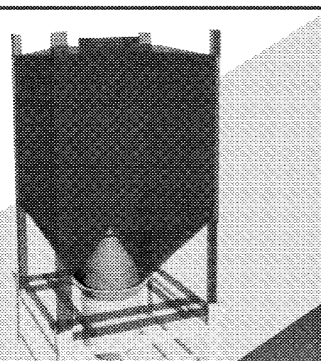
生産変動や多品種少量生産に対応可能な

マルチ粉体計量システム



コンテナシステム

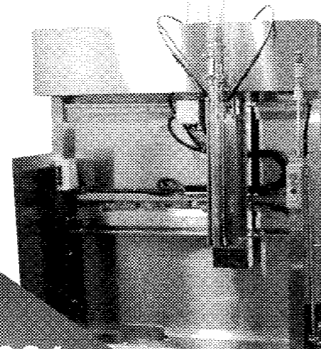
コンテナと排出機構をドッキング。流動性の悪い粉体の完全排出に!



ISO-9001
ISO-14001
認証取得

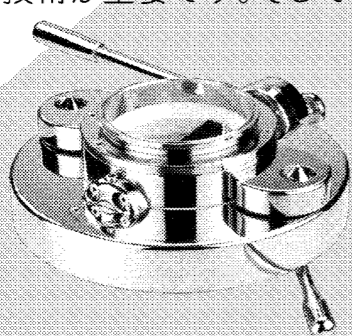
紙袋粉体吸引装置 パウダーワープ

コンタミ皆無の状態、中身の粉体を次工程に吸引移送する装置。



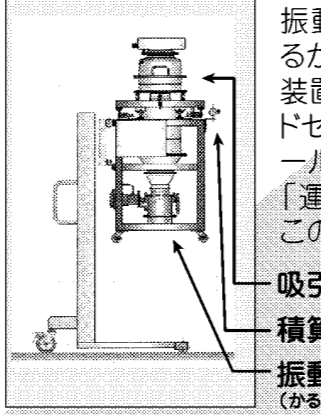
スプリット バタフライバルブ

原薬製造など高薬理活性物質をあつかうプロセスでは「封じ込め」技術が重要です。そして原薬の小分け・容器間の移し替え、乾燥機や反応釜へ投入・排出などではスプリットバタフライバルブが多く使用されています。



かるがるコンベア

振動ダンパー式フィーダ「かるがるフィーダ」に「吸引輸送装置」を合体させ、さらにロードセルにより排出量をコントロールすることに成功しました。「運ぶ」「貯める」「計る」がこの一台で実現します。



吸引輸送装置(バキュームコンベア)
積算式計量装置
振動ダンパー式フィーダ(かるがるフィーダ)

その他取扱品目
・連続定量供給装置
・パッチ軽量装置
・小型吸引輸送装置
・空気輸送装置
・スクレーパーフィーダ
・バグフィルタ
・ロータリーバルブ
・特殊布製サイロ
・貯留サイロシステム

資料送付・テスト迅速対応! TEL055-925-6666またはTEL03-3263-3407

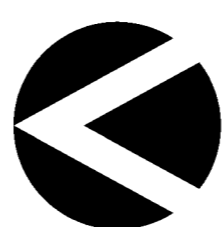
赤武エンジニアリング株式会社

本社 〒410-0302 静岡県沼津市東椎路632 TEL(055)925-6666 FAX(055)925-6688
東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-8 TEL(03)3263-3407 FAX(03)3263-3405

●当社のホームページ及びE-mailアドレス <http://www.akatake.co.jp> info@akatake.co.jp

塑性加工・パイプ加工による

省エネ・省資源・軽量化をご提案します。



自動車部品の

国本工業株式会社

〒431-3104
静岡県浜松市東区貴平町320番地
TEL:053-434-1237 FAX:053-434-2223
E-mail: kuni-tec@kunimotokogyo.co.jp
<http://www.kunimotokogyo.co.jp>

無エネ

TRINCの
エアを使わない
除電器



エアの
電気代
0円

従来型のエアを使う除電器

エアの電気代
約30万円/年
(1台あたり)

®「空間除電器」「ルームレスクリーンルーム」「無風除電」は(株)TRINCの登録商標です

株式会社TRINC
株式会社TRINCコンサルティング
株式会社TRINCサービス

本社: 〒432-8006 静岡県浜松市西区大久保町748-37 (浜松技術工業団地内) TEL:053-482-3412 FAX:053-482-3414
中国CSセンター: 〒116600 中国遼寧省大連保稅区市場大夏601A TEL:+86-411-87185908 FAX:+86-411-87185928
ホームページにて「静電気読本」無料配信中 <http://www.trinc.org> 又は [トリンク](#) [検査](#)